

# 2017年アジア選手権代表選手 略歴

## 【男子フリースタイル】

階級	顔写真	選手名・略歴
57kg		<b>高橋 侑希(たかはし・ゆうき=ALSOK)</b> 1993年11月29日生まれ、23歳。三重県出身。三重・いなべ総合学園高～山梨学院大卒。159cm。 2009～11年に3年連続でインターハイ優勝。2012年には1年生で全日本大学選手権優勝。2014年に全日本選抜選手権で勝ち、世界選手権へ初出場して5位入賞。2015年世界選手権は9位。同年の全日本選手権で5位に終わり、リオデジャネイロ・オリンピックの道は断たれた。 2016年は国民体育大会で優勝し、ゴールデンGP決勝大会3位、全日本選手権3位。
61kg		<b>樋口 黎(ひぐち・れい=日体大)</b> 1996年1月28日生まれ、21歳。大阪府出身。茨城・霞ヶ浦高卒。163cm。 2012・13年インターハイで優勝。2013年は高校三冠王へ。2015年にJOC杯ジュニア60kg級を制し、世界ジュニア選手権へ出場。全日本選手権57kg級で初優勝。 その後のオリンピック・アジア予選で優勝し、リオデジャネイロ・オリンピックで銀メダルを獲得した。そのあとの全日本大学選手権は61kg級で優勝し、全日本選手権でも同級優勝。
65kg		<b>鴨居 正和(かもい・まさかず=自衛隊)</b> 1992年5月27日生まれ、24歳。香川県出身。香川中央高～山梨学院大卒。167cm。 2012年全日本大学選手権60kg級優勝、2013年60kg級学生二冠王などを経て、2014年に世界選手権61kg級に出場。同年の全日本選手権で初優勝。 2015年は世界選手権で5位となり、65kg級に上げて全日本選手権5位。2016年は2月にアジア選手権5位。その後の全日本選抜選手権と全日本選手権で優勝した。
70kg		<b>中村 百次郎(なかむら・ももじろう=日体大助手)</b> 1993年8月2日生まれ、23歳。佐賀県出身。佐賀・鹿島実高～日体大卒。171cm。 2011年に国体グレコローマンで優勝。日体大では主にフリースタイルをやり、新人選手権での優勝はあるが、学生のタイトルはなし。全日本選手権や全日本選抜選手権は、2015年全日本選手権3位が最高だった。 2016年は全日本選抜選手権4位のあと、全日本社会人選手権、全日本選手権で優勝。
74kg		<b>浅井 翼(あさい・つばさ=拓大)</b> 1995年4月8日生まれ、22歳。京都府出身。京都・京都八幡高卒。181cm。 中学時代は2011年JOC杯カデット76kg級優勝、高校では2012年国体少年74kg級優勝、2013年インターハイと国体の74kg級優勝など。拓大へ進み、2014年JOC杯74kg級で優勝するも、その後は2位、3位が多く、タイトルに恵まれなかった。 2016年の国体で久しぶりに優勝。全日本選手権では3位に入賞した。
86kg		<b>松坂 誠應(まつさか・まさお=自衛隊)</b> 1994年7月18日生まれ、22歳。長崎県出身。長崎・島原高～日体大卒。176cm。 高校時代は全国大会無冠。大学2年生(2014年)のJOC杯で優勝し、世界ジュニア選手権出場と台頭。2015年は学生二冠王に輝き、全日本選手権は2位。 2016年はオリンピック予選に出場したが、実らなかった。その後、全日本学生選手権で優勝。国体は2位とつまずいたが、全日本大学選手権で勝ち、2年連続で学生二冠を制覇。全日本選手権でも勝った。
97kg		<b>赤熊 猶弥(あかぐま・なおや=自衛隊)</b> 1991年6月5日生まれ、25歳。福岡県出身。福岡・東鷹高～拓大卒。180cm。 高校時代はインターハイ3位が最高。拓大では新人選手権の優勝もなかったが、3年生の時の2012年全日本学生選手権84kg級優勝で台頭。2013年は全日本選抜選手権2位、学生二冠王など。 2014・15年と全日本の2大会は優勝にあと一步届かず。2016年から97kg級へ上げ、全日本選抜選手権で優勝。全日本選手権も制した。
125kg		<b>山本 泰輝(やまもと・たいき=拓大)</b> 1996年10月18日生まれ、20歳。静岡県出身。静岡・飛龍高卒。182cm。 2014年に高校五冠を制覇。アジア・ジュニア選手権でも3位入賞。2015年に全日本選手権で優勝し、リオデジャネイロ・オリンピック予選に挑んだが、勝ち抜くことはできなかった。 その後、全日本選抜選手権で優勝。学生の2大会はカザフスタンからの留学生の壁にはね返されて、ともに2位だったが、全日本選手権は2連覇を飾った。